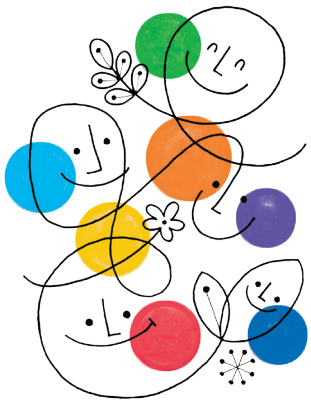
一般社団法人 ぎふ綜合健診センター

ぎふ綜合健診センター だより

VOL.22 Spring 2025



ぎふ綜合健診センターの 無料アプリ

ぎふ綜合健診センターでは、新たな受診者サービスとして、独自の健康管理アプリを開発し、2025年1月から運用を開始いたしました。

アプリは、受診票（問診票）または結果票が届いたタイミングでインストールしていただき、一度インストールすれば、これまでのweb問診入力・結果配信サービスのように、毎回ID及びパスワードを入力する必要はありません。なお、無料アプリの運用開始により、従来のweb問診入力及びweb結果配信サービスは終了いたしました。

ぎふ綜合健診センターのアプリでできること

1 健康診断受診時の問診入力

事前に問診入力していただくことで、健診当日はスムーズに受診していただけます。

2 スマートフォンで健康診断の結果閲覧

個人結果票を印刷したタイミングで結果配信されますので、紙の結果票がお手元に届くより早く健診結果を知ることができます。また、健診結果が蓄積されていきますので、いつでも過去の結果と比較ができます（2025年1月以前の結果は閲覧できません）。

3 健診結果のPDFダウンロード

健診結果をPDFにダウンロードできますので、簡易結果票が印刷できます。

4 労災2次健診（無料）対象者への案内配信

１次健診の結果、脳・心疾患の発症リスクが高い方へ案内を配信します。

5 健康に役立つ情報の配信

生活習慣改善のヒントとなるような健康情報を配信します。

今後も利用者の皆様に喜ばれ、役立つサービスを順次拡大していきますので、ぎふ綜合健診センターの無料アプリを是非ご利用ください。

アプリのインストールは、受診票（問診票）もしくは結果票が届いたタイミングで!

検索する場合は次のキーワードで検索してください。
左記のアイコンが目印です。

ぎふ綜合健診センター 検索

右記のコードを読み込むと、ストアから直接アプリをダウンロードできる画面になります。

インストールには、受診票（問診票）または結果報告書に記載のID等が必要となります。

Android版はこちら
GET IT ON Google Play
対応バージョンはAndroid10以降です

iOS（iPhone）版はこちら
App Store からダウンロード
対応バージョンはiOS 15 以降です

公益財団法人JKAの補助を受けて 胸部X線・循環器検診車を更新しました

公益財団法人JKA2024年度の競輪の補助(2,400万円)を受けて新造した蓄電池システム搭載胸部Ｘ線・循環器検診車が、令和7年2月28日に納車されました。蓄電池システムを搭載した胸部X線・循環器検診車は3台目となりますが、今回導入された蓄電池は、これまでのニッケル水素電池ではなく、リチウムイオン電池である東芝の二次電池SCiB™を採用しました。この蓄電池は、高い安全性能で破裂・発火を起こしにくく、20,000回の充放電後も70%以上の容量を維持します。ニッケル水素電池より長寿命であることから、健康診断実施時の二酸化炭素の排出量を削減するだけでなく、電池交換が必要ないことがSDGsに繋がると考え採用しました。

また検診車両の安全確保のため、運転席キ

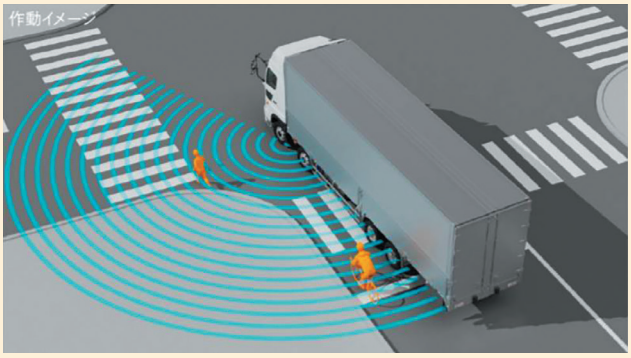
胸部、身体計測検査室・検査待合室・心電図検査室

運転席キャビン

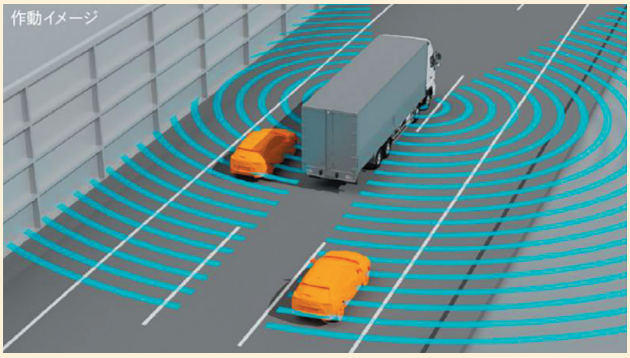
心電図ベッド下に
格納された蓄電池システム

蓄電池システム操作部

ャビンと検査室を完全に独立させた検診車製作をしていますが、これも3台目となります。近年向上し続ける車両の安全性能・安全装備を活用するために、運転席キャビンを固定しない検診車を製作することで、当センター職員間での安全意識向上や、新型車両での運用も確立されてきました。また、車両メーカーでの車検・点検などのメンテナンス作業も、標準車通りに出来るメリットがあります。



左折巻き込み警報
(BSD：Blind Spot Information System)



車線変更警報
(BSD：Blind Spot Detection)

追加された車両の安全機能として、左折巻き込み警報と車線変更警報機能があります。新型車両から運転席キャビン下部にミリ波レーダー検知器を搭載、警告音とともにピラー部の表示灯が赤色に点滅し注意を促すことで事故防止に貢献します。

検査環境への配慮

検査室内は、これまでの蓄電池システム搭載車同様、2.48mの車幅と3.72mの車高を最大限に生かし、広い検査・待合空間を確保しています。

検査待合を中心に前後が検査室となっており、待合椅子は独立しカーテンで仕切られるため安心して更衣していただけます。また、蓄電池システムによる静かでクリーンな快適環境で検査を受けることが可能です。

検診車外には、雨や日よけ用の大型テント、各検査エリアと待合エリアにはルームエアコン、中央出入口には、受診者用下駄箱を設置し、検査室内に汚れを持ち込ませず、施設での健診に劣らない清潔で快適な環境で検査を受診していただける構造となっています。

待合椅子を兼ねた
独立型シートとルームエアコン

ぎふピンクリボンとの共同事業を実施しました

ぎふピンクリボンは、「まずは私が持続可能に！」をテーマに、女性のがん罹患率第1位である乳がんを中心に、健康な体づくりや定期的ながん検診の重要性を訴えていく活動を行っている岐阜市活動団体で、2022年に設立されました。

ぎふピンクリボンでは、岐阜県健康福祉部と共に県内各地で、乳がん検診バスをイベント会場に設置し、検診費用をぎふピンクリボン実行委員会が負担することで、希望者（35歳以上で初めて受診する方、もしくは長期間受診していない方）に無料で乳がん検診を受診していただくプロジェクトを実施しています。

当センターでは、ぎふピンクリボンの活動に賛同し、パートナー企業としてピンクリボン実行委員会の自主開催による乳がん検診実施に協力する形で、2024年9月14日、明治安田生命J3リーグ第28節『FC岐阜 VS　SC相模原』が行われたホームゲーム会場（岐阜メモリアルセンター長良川競技場）にて、来場者に乳がん検診を実施いたしました。

秋晴れのもと32名の方に乳がん検診を受診していただきました。

村上啓雄センター所長と実行委員の皆様

ピンクリボン運動とは

乳がんは、早期発見・治療をすれば治るがんだと言われています。

しかし日本では、乳がん検診の受診率が43.7%と欧米諸国に比べて低くなっているのが現状です。

ピンクリボン運動は、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を呼びかける活動で、1980年代のアメリカで始まり、世界へ広がりました。毎年10月1日をピンクリボンデー、10月をピンクリボン月間として啓発キャンペーンが行われています。

一般社団法人
ぎふ綜合健診センター
〒501-6133 岐阜県岐阜市日置江4丁目47番地
TEL.058-279-3399　FAX.058-279-3375
ホームページ　https://gghc.or.jp

ISO 9001認証 JQA-3091 ISO9001認証
健診施設機能評価 認定　第190号
労働衛生サービス 機能評価認定
プライバシーマーク認定